

科学技術が進歩した現在、「グローバル化」が進み、様々なことにおいて、「グローバル化」の荒波を受けざるを得ない時代になってきた。今の日本においても「グローバル化」がかなり進んできている。モノは安く大量に手に入るようになってきたが、そのために、日本に昔からあった商店・農家・中小企業等は、外国資本に淘汰され、工場も海外に移転していきまう。

食料についても、外国産のモノばかりに形成り立たない時代になっており、完全な自給自足はもはや不可能だ。また、看護師も、フリーピン等からEPAによって数を限定して受け入れられている。

このような時代にあつて、FTAによる関税撤廃・労働者の一定の受け入れはやむをえないだろうが、その中で日本の存在感を維持していくためには、工業・農林水産業・サービス業いずれにおいても高付加価値のある製品を開発していく以外に手はないだろう。

(ことに活路を見いださなければならぬ。)